



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Landport柏Ⅱ新築工事	階数	地上6F
建設地	柏市稲インター西土地区画整理事業B街区2画地(敷地: 柏市大青田山071-1ほか)	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	394 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2024年9月9日
敷地面積	44,674 m ²	作成者	日本国土開発株式会社一級建築士事務所 日高 祐太郎
建築面積	19,145 m ²	確認日	2024年9月9日
延床面積	110,723 m ²	確認者	日本国土開発株式会社一級建築士事務所 日高 祐太郎

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
BEE = 1.4 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 92 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4 Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.8 LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.8 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 設備システムの効率化でレベル5を獲得	その他 特になし	
Q1 室内環境 内装はほぼ全面に☆☆☆を使用、事務室はカーテンを採用するなどし環境に配慮	Q2 サービス性能 事務室天井高3.0mと広々とした執務空間、耐用年数の長い外壁建材や配管材を使用するなどし、環境に配慮	Q3 室外環境 (敷地内) 自生種を選定した緑地づくりなどで環境に配慮
LR1 エネルギー BPI _m =0.96 BEI _m =0.40	LR2 資源・マテリアル 躯体材料以外にリサイクル材を使用し、環境に配慮	LR3 敷地外環境 光害チェックリストの過半数を満たし、広告物照明は無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1 建物概要	
建物名称 (仮称)Landport柏Ⅱ新築工事	建築物の環境効率 (BEEランク) B+ ★★★★☆

2 重点項目への取り組み度	
重点項目	取組み度※(得点/満点)
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.1 / 5.0
K2 うるおいのある景観をつくる	3.0 / 5.0
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.6 / 5.0
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上 ふつう 3点以上 がんばろう 3点未満

3. 中項目の評価(バーチャート)

K: 柏市の重点項目

K1 地球環境にやさしい社会をつくる

項目	評価
省エネ型まちづくり	3.4
循環型まちづくり	2.8

K2 うるおいのある景観をつくる

項目	評価
緑豊かなまちなみ	3.0
魅力ある景観	3.0

K3 安全で健康な生活環境をつくる

項目	評価
健康な暮らし	3.4
安全な暮らし	4.0

4. 設計上の配慮事項	
K1 地球環境にやさしい社会をつくる BEI0.43と高い省エネ性能を実現 大型自動車道の近くに位置、ダブルランプと両面バースで止まらない物流を実現	スコアシート 1. 省エネ型まちづくり 1.1 建物の熱負荷抑制 (LR1-1) スコア 3.1 1.2 自然エネルギーの利用 (LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化 (LR1-3) スコア 5.0 1.4 効率的な運用 (LR1-4) スコア 2.0 2. 循環型まちづくり 2.1 雨水利用・雑排水再利用 (LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制 (LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減 (LR2-2) スコア 3.1 2.4 廃棄物処理負荷抑制 (LR3-2.3.4) スコア 2.0
K2 うるおいのある景観をつくる 自生種を選定した緑地づくりなどで環境に配慮 道路沿いに植栽をし、景観に配慮	スコアシート 1. 緑豊かなまちなみ 1.1 生物資源の保全と創出 (Q3-1) スコア 3.0 2. 魅力ある景観 2.1 まちなみ・景観への配慮 (Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 -
K3 安全で健康な生活環境をつくる 事務室天井高3.0mと広々とした執務空間とカーテンを採用するなどし、環境に配慮 揺れを抑える装置を導入するなど、地震への備えを実現	スコアシート 1. 健康な暮らし 1.1 空気質環境 (Q1-4) スコア 3.7 1.2 バリアフリー計画 (Q2-1.1.3) スコア 3.0 2. 安全な暮らし 2.1 耐震・免震 (Q2-2.1) スコア 4.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 -